

栃本市が誇る

江戸型人形山車

等の紹介

凡例

- 県指定有形民俗文化財 市指定有形民俗文化財
- 1 制作年
 - 2 人形の作者
 - 3 山車等の特徴

弁慶

人形

- 1 明治期
- 2 作者不明
- 3 「前柱」昇り下りの竜の彫刻
「裏格子」重作の印葡萄と木鼠の彫刻
「正面」紅蘭唐獅子牡丹の透かし彫
「傍」波に亀の彫「前垂」梅に鶯の彫



大町市

仁徳天皇

人形

- 1 昭和期
- 2 安生
- 3 「山車」漆塗り仕上げ
「上段幕」鳥の文字の意匠化刺繍



嘉右衛門町市

諫鼓鶏

人形

- 1 一八七四(明治七)年以前
- 2 作者不明
- 3 天下泰平の象徴。良い政治が行われ、訴えを聞く太鼓を叩く者が無く、鶏が太鼓に巣を作ったという故事。



泉町市

素盞鳴尊

人形

- 1 一八九三(明治二六)年
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
- 3 「上段幕」羅紗四神刺繍
「見送幕」錦欄七宝祥に亀牡丹菊織込



万町三丁目 県

張飛翼徳

人形

- 1 一八七八(明治二一)年
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
- 3 「上段幕」羅紗四神刺繍
「見送幕」錦欄七宝祥に亀牡丹菊織込



万町三丁目 県

日本武尊

人形

- 1 一八九三(明治二六)年
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
- 3 「上段幕」羅紗四神刺繍
「見送幕」錦欄七宝祥に亀牡丹菊織込



万町二丁目 県

関羽雲長

人形

- 1 一八七八(明治二一)年
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
- 3 「上段幕」羅紗四神刺繍
「見送幕」錦欄七宝祥に亀牡丹菊織込



万町二丁目 県

天照大神

人形

- 1 一八九三(明治二六)年頃
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
- 3 「上段幕」羅紗四神刺繍
「見送幕」錦欄七宝祥に亀牡丹菊織込



万町一丁目 県

劉備玄德

人形

- 1 一八七八(明治二一)年
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
- 3 「上段幕」羅紗四神刺繍
「見送幕」錦欄七宝祥に亀牡丹菊織込



万町一丁目 県

静御前

人形

- 1 一八四八(嘉永元)年
- 2 松雲斎徳山
- 3 「水引幕」錦欄に巴紋の刺繍
「見送幕」金糸で若松の刺繍



倭町三丁目 県

神武天皇

人形

- 1 一八九三(明治二六)年
- 2 人形師 三代目 法橋 原舟月
依頼し制作は古居栄山
- 3 「上段幕」四面羅紗金色竜九に雲刺繍
「見送幕」木綿地に赤白緑の織子



倭町二丁目 県

雄獅子・雌獅子

人形

- 1 一八七三(明治六)年以前
- 2 作者不明
- 3 金箔に生漆喰仕上げの
厄除け・和合火防の獅子。



倭町一丁目 市

桃太郎

人形

- 1 一九〇五(明治三八)年
- 2 大沢銀之丞
- 3 「欄間」長押を二重彫刻
「人形座」勾欄・中段・腰・帷子座は
意匠を統一



室町 県